

水滸伝vs八犬伝

2011年4月1日(金)～27日(水)
(日曜、4月5日(火)は除く)

10:00-17:00

専修大学図書館本館
(生田校舎9号館3階)

入場無料

明代に成立した白話小説『水滸伝』は、近世初期頃に日本へ伝来して以降、多くの翻刻・翻案物が作られ、戯作に多大な影響を及ぼしてきました。また、曲亭馬琴の長編読本『南総里見八犬伝』は、『水滸伝』に構想を借り、ロマン溢れる雄大な物語性から、読者の絶大な人気を得て、後期読本の頂点に立った作品です。

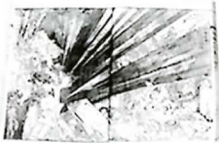
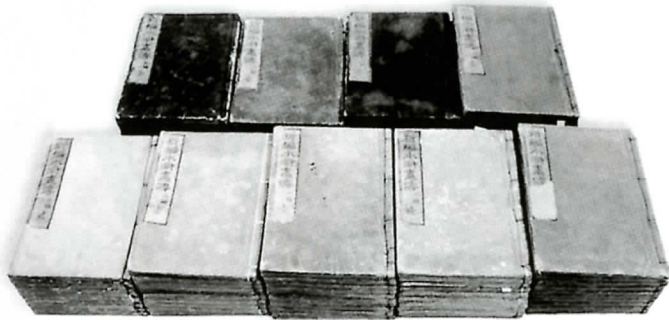
今回の展示では、『水滸伝』の流行から『八犬伝』が誕生するまでの後期読本の変遷を追い、さらに両作品から派生した草双紙についても触れることで、これらの物語が当時の読者をいかに魅了し、大きな位置を占めてきたかを知る契機となれば幸いです。

また、歌川国芳の傑作「水滸伝豪傑百八人一個」をはじめとする、綺羅星のような英雄たちを浮世絵にてお楽しみ下さい。



しんべんすいこがでん 新編水滸画伝

読本 初編は曲亭馬琴作、二編以降は高井蘭山録 葛飾北斎画
文化二～天保九年(1805-38)六編まで刊、以下の刊年未詳



なんそうさとみはっけんでん 南総里見八犬伝

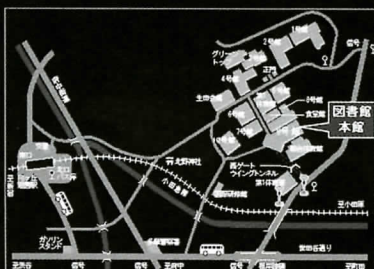
読本 曲亭馬琴作 柳川重信・溪斎英泉画
文化十一～天保十三年(1814-42)刊



つうぞくすいこでんごうけつひやくはちにんのひとり
通俗水滸伝豪傑百八人之一義
大判錦絵 歌川国芳画 文政末頃 個人蔵



ぎゆうはっけんでん
義勇八犬伝
大判錦絵 歌川国芳画 嘉永頃 個人蔵



アクセス

向ヶ丘遊園駅(小田急線)北口より

- ・「専修大学9号館」行バスで約10分→終点下車
- ・「専修大学前」行バスで約10分→「専修大学120年記念館前」下車
- ・「聖マリアンナ医科大学・あざみ野」行バスで約10分→「専修大学120年記念館前」下車
「専修大学120年記念館前」からは左手にあるトンネルを出て右手の建物(9号館)の3階へお入り下さい。

あざみ野駅(東急田園都市線・横浜市営地下鉄線)より

- ・「向ヶ丘遊園駅」行バスで約35分→「専修大学120年記念館前」下車
「専修大学120年記念館前」からは横断歩道を渡りトンネルを出て右手の建物(9号館)の3階へお入り下さい。

お問い合わせ先

専修大学図書館
神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1
TEL: 044-911-1274
E-Mail: library@acc.senshu-u.ac.jp